



15 陸の豊かさも
守ろう

14 海の豊かさ
守ろう



気仙沼市の教育旅行

海を感じる体験と震災の記憶を巡る

13 気候変動に
具体的な対策を

11 住み続けられる
まちづくりを



遅しく生きる環境学習の適地 気仙沼をお選びください

豊かな三陸の海が目の前にある気仙沼市は古くから漁業・水産業の盛んなまちとして栄えてきましたが、高度経済成長期には環境破壊が問題となりました。

特に気仙沼湾で行なわれていた養殖業は赤潮の発生により存続自体が危ぶまれましたが、「豊かな海を保つためには森や川の環境も整える必要がある」という森・川・海の繋がりを意識した環境保全活動などにより海の環境が回復し、現在も漁業・水産業のまちとして全国に知られています。

一方、気仙沼市は過去に幾度となく大津波に襲われてきた三陸沿岸に位置しており、東日本大震災による津波は記憶に新しいと思います。

その震災の記憶を伝承するため、施設整備や語り部の活動など防災・減災に向けた取り組みを行っており、震災学習にも力を入れています。

気仙沼市は環境破壊による養殖業の危機、そして、東日本大震災の危機などを乗り越えてきました。

地球環境下で発生している震災を学ぶことも環境学習の1つと捉えると「海を感じる体験」と「震災学習」を学ぶ気仙沼市は環境学習をする場所として適しているのではないのでしょうか。

気仙沼市で遅しく「生きる力」を感じとって下さい。



気仙沼市



気仙沼湾内で採れたカキ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「海と生きる」まちのSDGs

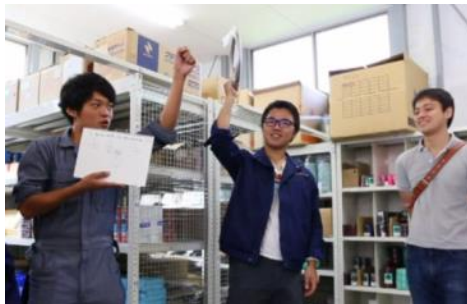


漁師と共に170年！ 老舗漁具屋探検ツアー

1850年に気仙沼で起業した「アサヤ株式会社」は、創業以来気仙沼をはじめとする三陸沿岸の漁業を支えてきました。釣糸を作るための麻を買い付けてくることから始まった商いは、時代とともに広がり、現在は3万点以上の商品を扱っています。想像以上に豊富な種類、理にかなった素材や形状、初めて見る漁具の数々にたくさんの驚きと学びが得られることをお約束します。



アサヤ株式会社
代表取締役社長
廣野 一誠さん

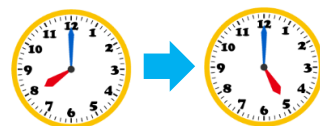


Point !

SDGs17の目標の1つである「14. 海の豊かさをまもろう」。「海洋資源の保全」は非常に大切なことであり、魚の乱獲を続けると海の世界連鎖に大きな影響を与え、私たちの食生活にも大きな影響が出ます。

漁具には、「網」のように狙った大きさの魚だけを捕るために網目を調整、稚魚などが網にかからないように、海洋資源の保全を図る工夫がされています。漁具屋を探検しながら、「海の豊かさをまもる」漁業について興味を持ってほしいと思います。

体験可能時間



8:00 17:00
最終受付16:00

通年受入れOKです！

基本的に建物内なので
雨でもOKです！

体験時間 約60分

タイムスケジュール(予定)

- 00:00 集合
- 00:02 あいさつ
- 00:05 現場へ移動
- 00:07 探検開始
- 00:50 終了・バスへ移動
- 00:52 乗車前に最後のあいさつ
- 01:00 終了



「海と生きる」まちのSDGs



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

たかが氷？されど氷！水産と観光の融合を見届けよ！ 70分間のオカモト・オブ・アイス

水産都市気仙沼には欠かせない氷屋。魚市場では水揚げされる魚の鮮度を保つため、大量の氷が使用されます。その氷を製造している工場に潜入し、氷屋の仕事を体験・体感しながら学んでもらいます。

また、氷屋プロデュース「氷の水族館」も見学してもらいます。気仙沼の魚を氷で包んだ「氷のアート」が展示されており、幻想的なアイスブルーの巨大な氷や光と映像が織りなす、日本で唯一の空間へ是非お越しください。

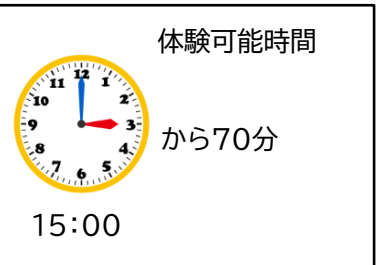


株式会社
岡本製氷冷凍工場
専務取締役 岡本 貴之さん



Point !

SDGs17の目標の1つである「14. 海の豊かさをまもろう」。製氷工場はどのような形でその目標に係っているのでしょうか。氷は魚の鮮度を保つために必要です。鮮度の良い魚は美味しく、多く消費されることで需要が拡大します。鮮度の良い魚を供給し続けるためには魚を捕りすぎないようにしなければいけません。(海洋資源の保存) このように持続可能な水産業が発展することにより、海の豊かさを守ることにつながります。



通年受入れOKです！

工場と氷の水族館の移動は徒歩で行ないます。
雨天時は傘をご準備下さい。
体験・見学は建物内で実施します。

体験時間 約70分

タイムスケジュール(予定)

- 00:00 製氷工場集合
- 00:02 あいさつ・説明
- 00:08 製氷工場内見学
- 00:20 氷切体験
- 00:30 かき氷試食
- 00:40 質疑応答
- 00:45 移動
- 00:55 氷の水族館到着
- 00:57 あいさつ・説明
- 01:00 氷の水族館見学
- 01:10 終了



「海と生きる」まちのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ビーチクリーンでゴミアート！！

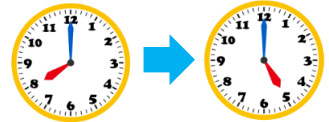
世界中で問題になっている海洋ゴミ。いつまでも綺麗な海を保っていくために、私たちができることを考え、実行します。ビーチクリーンをしながら、拾った貝殻や海洋ゴミを使った「ものづくり」。ゴミだとは思えない出来栄に、きっとびっくりするはず。海洋ゴミが自分だけの宝物に変身します。海のゴミの現状を知ることが、海を大切に作る心を育むことに繋がります。



NPO法人 浜わらす
代表 笠原 一城さん



体験可能時間



8:00 17:00
最終受付15:00

通年受入れOKです！

軍手か手袋をご準備下さい

雨天・悪天候時はビーチクリーンを中止し、ものづくりのみ行います。

体験時間 約120分

ものづくりは3つの中から選べます。
(1団体1種類)



「海のジェルキャンドル」づくり



「フォトフレーム」づくり



「エコラップ」づくり

Point !

現在、海に流れ込んでいるプラスチックゴミは毎年800万トンを超えていると考えられています。

プラスチックゴミは毎日のように砂浜に流れついており、ビーチクリーンをしながらインストラクターから海洋ゴミの話聞くことで海の豊かさを守る大切さを実感することができます。また、砂浜に打ち上げられたゴミを用いて自分だけの宝物を作ることで思い出に残る体験になるかと思えます。

タイムスケジュール(予定)

- 00:00 集合
- 00:15 団体紹介
海洋ゴミについて
- 00:25 海岸へ移動
- 00:30 ビーチクリーン
- 01:00 移動
- 01:10 ものづくり開始
- 01:50 ものづくり終了
- 02:00 全体終了



「海と生きる」まちのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



カキ・ホタテ養殖漁業体験

宮城県の最北東端に位置する唐桑半島、山からの栄養豊富な水が流れてくるこの地域は、「海と山」がつながる場所です。この場所で漁師さんと一緒に、カキやホタテの養殖作業を行います。カキの“種仕込み”や“耳つり”などの仕事をした後、船に乗り沖へ出て養殖イカダの見学をすることができます。
(時期や漁業者の都合で耳釣り・種仕込みできない場合があります)

Point !



養殖をする海は、陸地の畑と同じです。栄養の無い土で野菜が育たないのと一緒に、栄養の無い海では養殖はできません。この体験を通して、栄養のある海の源となっている山についても考えていただければと思います。



津波石トレッキングガイド

唐桑半島の先端近くの小さな入り江には、東日本大震災の津波によって海底から打ち上げられた「津波石」と呼ばれる重さ150トンの大きな岩があります。この大きな岩に向かう途中では、季節の山野草やニホンカモシカなどの動物との出会いも。ガイドの案内で三陸の海の美しさと恐ろしさ、その海と生きる人々の暮らしを体感することができます。

Point !



自然は、私たちに癒しをあたえてくれますが時には牙をむいてきます。この体験を通して、自分たちも自然の中の一部であるということを感じてもらえればと思います。



塩作り体験

かつて三陸復興国立公園岩井崎周辺には良質な塩の採れる塩田があり、仙台藩御塩場として塩作りが盛んに行われてきました。塩作り体験は、この良質な塩を自分の手で作り、自分だけのオリジナルデザインのラベルを貼った小瓶に入れて完成です。自分の手で作った塩と共に楽しい思い出をお持ち帰り下さい。

Point !



綺麗な海水からでない美味しい塩は出来ません。この体験を通して、プラスチックゴミを代表とした海洋汚染について考えるきっかけになればと思います。



体験料金のご案内

※お申込み連絡先等は最終ページをご覧ください

受入先団体名	メニュー名	受入可能人数	料金	備考
アサヤ株式会社	漁師と共に170年！ 老舗漁具屋探検ツアー	40～45人	20,000円 (1団体)	・雨天でも対応可能
株式会社 岡本製氷冷凍工場	オカモト・オブ・アイス	最小31人 ～ 最大45人	1,700円 (1名)	・雨天でも対応可能 ただし、移動時に傘が必要となりますのでご準備下さい。 ・氷の水族館入館料込みの料金です。
NPO法人 浜わらす	ビーチクリーンで ゴミアート！！	最大40人	2,000円 (1名)	・軍手か手袋をご準備下さい ・ビーチクリーンの場所からもの作りの会場まで徒歩での移動の場合は、通常のタイムスケジュールにプラス40分程度移動時間が必要となります。
唐桑町観光協会	カキ・ホタテ養殖漁業 体験	最小2人 ～ 最大40人	2,500円 ～ 3,000円 (1名)	・40人以上の場合はご相談下さい。 ・その他注意事項等についてはお問合せください。
唐桑町観光協会	津波石 トレッキングガイド	10人 ～ 120人	500円 (1名)	・動きやすい服装、運動靴などでご参加下さい。 ・天候が変化する場合がありますので、念のため雨合羽など雨具の準備をお願いいたします。
気仙沼市 階上観光協会	塩作り体験	21人 ～ 70人	700円 (1名)	・スタッフ出張料込みの料金です ・別途会場の手配が必要となります



●気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

2011年3月11日に発生した東日本大震災より10年が経過しました。

この施設は、津波の被害を受けた高校の校舎を震災遺構として公開し、将来に渡り震災の記憶と教訓を伝えることで、命の大切さや災害への備えの大切さを知る事ができる施設です。

館内には専門の語り部ガイド(有料)もあり、語り部の話を聞きながら見学すると、さらに深く震災について学ぶことができます。



入館実績

総入館者数:148,010人

(令和元年度～令和3年12月)

※日本全国の小・中・高校生が訪れています



おすすめ!

自然災害はいつ発生するか分からず、人の力ではどうすることもできません。

現在、地球に起こっている急激な気候変動も災害が発生する要因の1つです。

震災学習をとおして気候変動についても考える機会となれば幸いです。

この施設で学んだ防災・減災の考え方は災害が発生する前に役立つ知識であり、併せて復興に向かっている気仙沼のまちの様子を見る事で災害に強い「住み続けられる街づくり」についても考えることができると思います。





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「海と生きる」まちの震災学習



●リアス・アーク美術館



リアス・アーク美術館では東日本大震災発生直後より、学芸員が中心となって約2年間に渡り調査・記録活動を行いました。

その活動で得た膨大な記録の中から厳選し、「東日本大震災の記録と津波の災害史」という形で写真203点、被災物155点を展示しています。

また、過去の津波などの歴史資料等137点も展示しており、三陸沿岸は過去に何度も大きい津波に襲われていることを知ることができます。

貴重な資料の数々をぜひご覧ください。

おすすめ！

学芸員のスケジュールが空いていればお話を伺うことができます。

震災の貴重な記録を集める際にどのような気持ちであったか？

どのような苦労があったか？などは、とても貴重な話です。

中でも、何度も津波に襲われているまちなのになぜまた大きな被害が出たのか？という話は住み続けられるまちづくりを考えるきっかけになると思います。



●震災復興語り部ガイド



震災復興語り部ガイドは震災翌年秋から活動を始め、今まで多くの方に自分が経験したことをもとに「命の大切さ」や「災害への備え」について話をしてきました。

震災から10年が経過し、震災当時の話に加えまちの復興についても話をしていきます。

経験者から聞く話は、年数が経過しても胸に響くものがあります。

おすすめ！



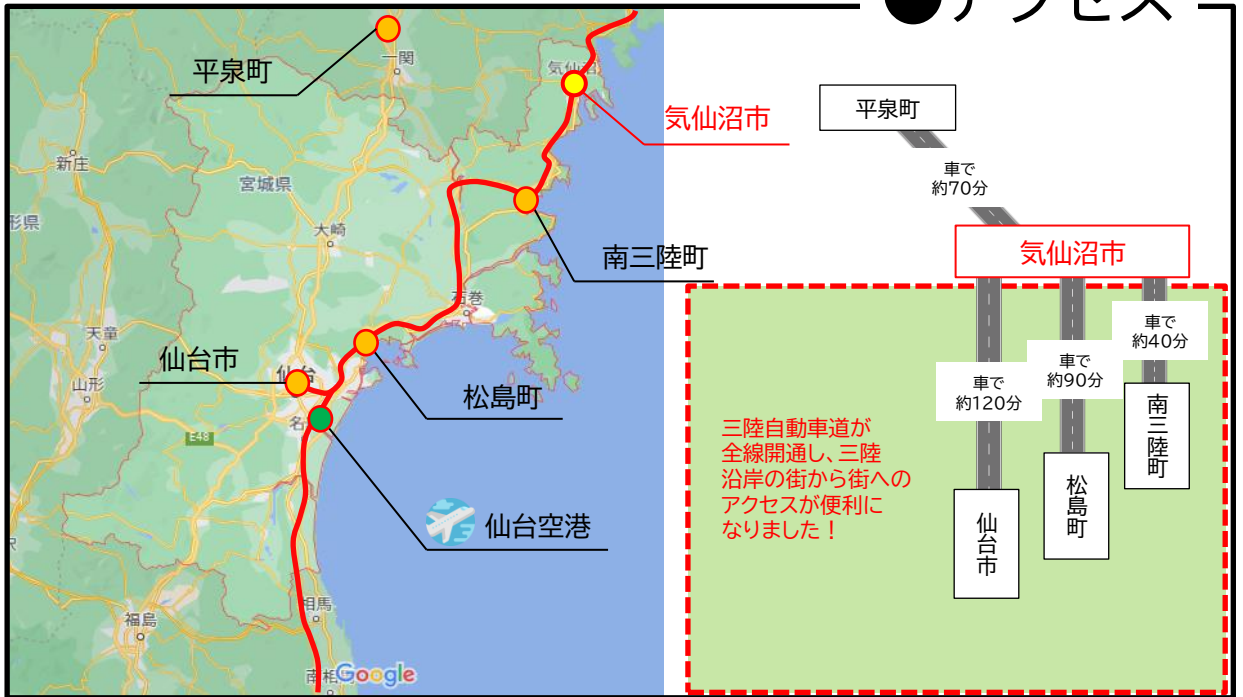
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館やリアス・アーク美術館など震災当時を知ることができる施設と組み合わせることで「震災当時～現在まで」を時系列で学ぶ事が出来ます。

津波の被害を受けた街の様子から語り部の案内で今の街を見る事で震災から10年を体感することができます。

震災学習施設等のご案内

名称	連絡先	料金	備考
気仙沼市 東日本大震災遺構 ・伝承館	電話 0226-28-9671 FAX 0226-28-9675 HPアドレス https://kesenuma-memorial.jp/	入館料 一般:600円 高校:400円 小・中:300円 (30名以上で 団体料金設定有り)	・休館日 毎週月曜日 祝日の翌日 (休館日について 詳しくはHPをご確 認下さい) ・館内語り部は別途お申 込みが必要となります
リアス・アーク 美術館	電話 0226-24-1611 FAX 0226-24-1488 HPアドレス http://rias-ark.sakura.ne.jp/2/	入館料 一般:700円 大学・専門:600円 高校:500円 小・中:350円 (20名以上で 団体料金設定有り)	・休館日 毎週月・火曜日 祝日の翌日 年末年始 (HPに掲載の スケジュール参照) ・学芸員の講話を希望の 場合は直接お問合せ ください
震災復興 語り部ガイド	電話 0226-22-4560 FAX 0226-22-9280 メール k-kanko@kmacs.ne.jp	1時間 一般:3,000円 教育:2,000円 2時間 一般:5,000円 教育:3,000円	・料金は語り部1名手配 時の料金です。 ・バスが複数台ある時は バスの台数分語り部の 手配が必要です

● アクセス



● 資料でご紹介した体験場所



モデルコース

※最初に気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を見学することで、その後の気仙沼での体験をより深く考え、楽しむことができます。

- 「海と生きる」まちで学ぶSDGsコース(ビーチクリーン、漁業体験をとおして海と山の循環を知る)

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 → ビーチクリーンでゴミアート! → 気仙沼市内宿泊 → カキ・ホタテ養殖漁業体験

→ 気仙沼市内昼食 → 次の目的地へ

- 「海と生きる」まちの震災学習コース(東日本大震災から現在までを時系列で学び、津波に強いまちづくりを知る)

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 → 震災復興語り部ガイド → 気仙沼市内宿泊 → 次の目的地へ

学校により目的・旅行行程は様々です。お気軽に(一社)気仙沼観光コンベンション協会までご相談下さい。

体験についての連絡先

メニュー名	連絡先団体	電話・FAX・WEB	備考
漁師と共に170年！ 老舗漁具屋探検ツアー オカモト・オブ・アイス ビーチクリーンで ゴミアート！	(一社) 気仙沼観光 コンベンション協会	電話 0226-22-4560 FAX 0226-22-9280 WEB https://kesennuma-kanko.jp/dantai/	
カキ・ホタテ養殖漁業体験 津波石トレッキングガイド	唐桑町観光協会	電話・FAX 0226-32-3029 WEB http://www.karakuwa.com/	
塩作り体験	気仙沼市 階上観光協会	電話・FAX 0226-27-5410 WEB https://hashikami-kanko.jp/	

その他、教育旅行に関するご相談・お問合せは・・・

(一社)気仙沼観光コンベンション協会
電話:0226-22-4560
Fax:0226-22-9280
mail:k-kanko@k-macs.ne.jp

までご相談下さい